

=信頼のネットワーク、JAバンク=

JAちちぶの現況

上半期ディスクロージャー誌

2016

平成28年4月1日～平成28年9月30日

目次

P.2 組合員と地域のみなさまとともに

P.3 理念・方針、事業紹介 P.4 経営状況

P.7 組合員の皆さまや地域のお客さまとのつながり

P.8 セーフティネットの仕組み、JA店舗紹介

 JAちちぶ

組合員と地域のみなさまとともに！！

J Aちちぶは地域社会の一員として、地域のみなさまとともに歩んで行きます。

J Aちちぶは、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町の1市4町を区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

J Aちちぶでは、皆さまから預かりした大切な財産である「貯金」を源泉として、資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

J Aちちぶは、組合員の皆さまへの奉仕はもとより、地域の皆さまに様々な事業機能やサービスを提供することにより、農業や地域経済社会の健全な発展に寄与することで社会的・公共的使命を果たしてまいります。また、J Aちちぶは、地域社会の一員としての責任を自覚し、地域の各種行事や催事等への参画やJ Aの社会・文化的活動をとおして、少しでも地域社会の発展や活性化のお役に立ちたいと思っております。

今後とも協同組合運動の理念である「一人は万人のために、万人は一人のために」を念頭におき、より良き地域社会人として、組合員の皆さまをはじめ地域社会の皆さまと一緒に歩んで行きたいと思っております。

トピックス



4月21日、園芸部会が
県知事を表敬訪問し、
秩父きゅうりをPR。



4月29日、第2回ペ
タンク大会を開催。



5月から10月まで、
秩父神社境内にて、
妙見朝市を開催。



5月27日、「J A
ちちぶカボス部会」
を設立。



5月27日、「J Aち
ちぶ青年部」を設
立。



6月9日、女性大学
開校。まんじゅうづ
くり等を体験。



8月19日、第1回ち
ちぶ山ルビー品評会
を開催。

地域貢献活動



地域住民とのふれあいを
目的に、吉田支店助け合
い組織「かえでの会」に
よるミニデイ実施。



食農教育の一環で、夏
休みこども村を受入
れ、女性部員が先生
に。



8月14日、地域コミュ
ニティ活動の一環で、
秩父音頭まつりに参
加。

そのほかに・・・

- ①地域への活動として、災害対策要綱等の作成・体制整備と、行政等と災害協定書を締結。
- ②組合員等への活動として、農薬空容器などの処理業務をし、地域環境の保全に努めます。
- ③友の会の活動や若年層とのふれあいとして、年金友の会では、ペタンク、ゲートボール、グラウンドゴルフ、旅行を開催。共済友の会では、日帰り旅行を開催。J Aバンク友の会では、旅行を開催。3友の会会員を対象に、毎年ゴルフ大会を開催。J A共済後援により、地域の小学生を対象に、サッカー大会を開催します。

JAちちぶ 理念・方針

経営理念

豊かな自然を活かした地域社会との共生による未来農業をめざして

経営方針

1. 持続発展する地域農業の実現
2. 豊かで暮らしやすい地域社会の実現
3. 未来へつなぐJA経営基盤の確立

取組方針

1. 協同組合の精神に基づき、
組合員とともに組織運動の実践
2. 法令・定款・規程・規則等を遵守し、
社会に認められる組織整備
3. 事業遂行のための意識改革
4. 職場の風土・風習・習慣を見直し、
活力ある職場作りの励行

JAちちぶの事業紹介

信用事業

貯金、融資、為替などの業務を行っております。

私どもは、組合員皆様と地域の皆様に信頼されるサービスのご提供と、期待や信頼にお応えする地域金融機関を目指し、「JAバンク」と称しております。

このJAバンクは、JA・県信連・農林中金という三段階の組織が密接に結びつき、JAバンクグループとして大きな力を発揮しています。

共済事業

「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提供しています。組合員・利用者をはじめ、地域の皆さまの暮らしのパートナーとしての総合保障を通じて、一人ひとりの人生設計にお応えできる安心を生涯にわたりお届けします。また、加入後の内容説明や保障点検を「あんしんチェック」として、実施しています。

経済・販売事業

農林畜産物を生産するために必要な肥料・農薬・飼料などの生産資材や、日々の食卓に欠かせない主食(お米)をはじめとする、生活に必要な購買品の良品・適価をモットーに、組合員の皆様と地域の皆様に提供しております。また、地域の組合員農家の方々が生産した、農産物を市場内外への出荷やJA直売所で販売をしております。その他、葬儀等の取り扱いを行っております。

営農・生活・相談事業

組合員の皆様と共に歩む営農指導(地域農業振興活動の支援・農業経営支援などの農業・農家のための活動)や組合員の皆様や地域の皆様と共に歩む生活指導(共同購入・地産地消などの生活文化活動)はもとより、税務・年金・住宅ローン相談の窓口開設などの総合的な相談機能により、暮らしの全般にわたったサポートをしております。

高齢者福祉活動

組合員とご家族、地域住民が老後を安心して過ごせるとともに、家族介護者の負担軽減を目的とした訪問介護などのサービスを提供しております。

28年9月期の経営状況のお知らせ

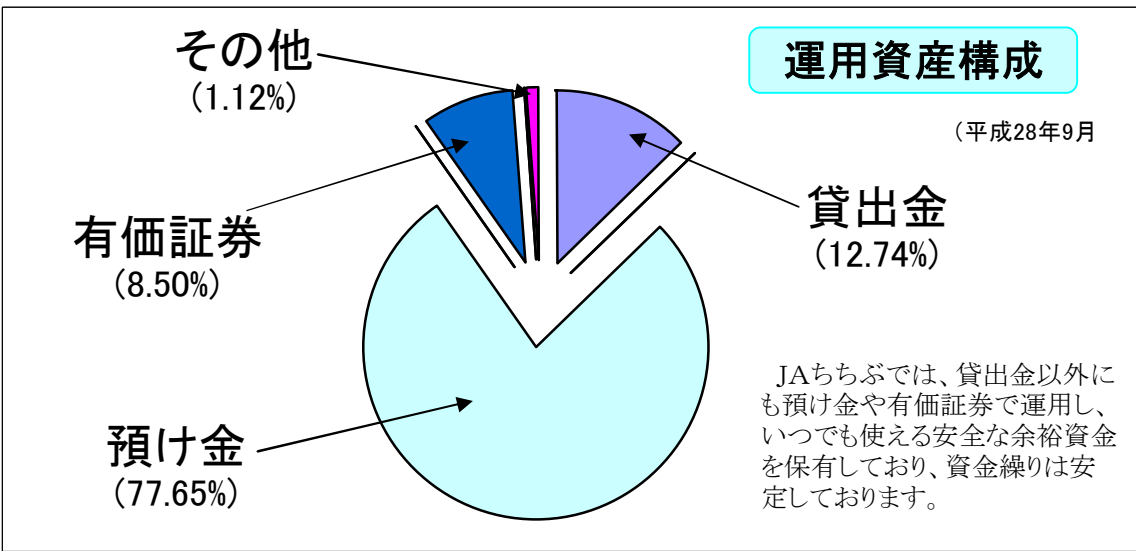
JAちちぶは、地域の多くみなさまよりご信頼をいただき、貯金残高は1,065億円となりました。また、貸出残高につきましては135億円となり、皆さまからお預かりした大切な財産を安全性と流動性を重視して資金運用しております。（平成28年9月末時点）

貯金・貸出金

（単位：百万円）

種 類	H27.9月期	H28.3月期	H28.9月期
貯 金	107,456	107,191	106,585
貸 出 金	15,135	14,832	13,574
預 け 金	81,931	82,096	82,763
有 価 証 券	9,888	9,753	9,059

注) 貸出金は、貸付留保金を含みません。



貯金内訳

（単位：百万円）

種 類	H28.3月期	H28.9月期
流 動 性 貯 金	49,202	48,693
定 期 性 貯 金	57,781	57,862
その他の貯金	207	29
合 計	107,191	106,585

(注)
 流動性貯金とは、
 = 当座貯金 + 普通貯金 + 貯蓄貯金
 定期性貯金とは、
 = 定期貯金 + 積立定期貯金 + 定期積金
 その他の貯金とは、
 = 別段貯金 + 納税準備貯金のことです。

《ご参考：支店別貯金残高》 （単位：百万円）

本・支店	H28.3月期	H28.9月期	本・支店	H28.3月期	H28.9月期	本・支店	H28.3月期	H28.9月期
本店営業課	17,984	17,354	皆野支店	15,267	15,223	大滝支店	3,073	3,007
秩父東支店	7,877	7,907	長瀨支店	11,374	11,308	荒川支店	10,427	10,586
秩父西支店	7,921	7,846	吉田支店	7,848	7,917	本 店	0	0
横瀬支店	8,009	8,067	小鹿野支店	17,411	17,365	合 計	107,191	106,585

《ご参考：保有有価証券の時価情報》 有価証券の時価及び評価差額に関する事項は次のとおりです

1 売買目的有価証券 当JAは、平成28年3月期及び平成28年9月期における売買目的有価証券の残高はありません。

2 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

時価が貸借対照表計上額を	種 類	H28.3月期					H28.9月期				
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時 価	差 額	うち益	うち損
超えるもの	国 債	2,200	2,350	149	149	—	2,200	2,343	142	142	—
	地方債	5,499	5,764	264	264	—	5,099	5,347	247	247	—
	金融債	600	601	1	1	—	300	300	0	0	—
合 計		8,299	8,715	415	415	—	7,599	7,991	391	391	—

注1 時価は、9月末、期末日における市場価格等に基づいております。

注2 百万円未満は切り捨てし、残高がある場合は「0」、残高がない場合は「—」で表示してあります

3 その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

時価が貸借対照表計上額を	種 類	H28.3月期					H28.9月期				
		取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	取得原価(償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
超えるもの	国 債	808	910	101	101	—	808	911	102	102	—
	地方債	499	543	43	43	—	499	547	47	47	—
合 計		1,308	1,454	145	145	—	1,308	1,459	150	150	—

注1 時価は、9月末、期末日における市場価格等に基づいております。

注2 百万円未満は切り捨てし、残高がある場合は「0」、残高がない場合は「—」で表示してあります

4 金銭の信託 当JAは、運用目的・満期保有目的・その他の金銭の信託にかかる契約はありません。

《ご参考:貸出金の内訳》

1 貸出金の科目別の残高

(単位:百万円)

種 類	H28.3月期	H28.9月期	増 減
手形貸付金	0	0	0
証書貸付金	13,411	13,092	△ 319
当座貸越	163	146	△ 17
金融機関貸付	1,258	335	△ 923

注)貸付留保金を含みません。

《ご参考:収益の状況等》

(単位:百万円)

区 分	H27.9月期	H28.9月期	増減額
事業総利益	1,067	1,018	△ 49
うち信用事業	343	301	△ 41
事業管理費	920	916	△ 4
事業利益	147	101	△ 45
経常利益	216	167	△ 48
当期剰余金	146	135	△ 11

2 業種別の貸出金残高と構成比(貸付留保金を含みます。)

(単位:百万円)

種類	H28.3月期		H28.9月期		増減	種類	H28.3月期		H28.9月期		増減
	残高	構成比	残高	構成比			残高	構成比	残高	構成比	
農 業	574	3.8	567	4.2	△ 7	卸売・小売業	647	4.3	620	4.5	△ 27
林 業	78	0.5	76	0.6	△ 2	金融・保険業	1,578	10.6	634	4.6	△ 945
鉱 業	91	0.6	106	0.8	15	不動産業	215	1.4	209	1.5	△ 6
建設業	916	6.1	919	6.7	3	サービス業	1,535	10.3	1,516	11.1	△ 19
製造業	2,963	19.9	2,856	20.9	△ 107	地方公共団体	4,250	28.5	4,087	30.0	△ 163
電気・ガス・熱供給・水道業	171	1.1	167	1.2	△ 4	その他	709	4.8	695	5.1	△ 14
運輸業	1,196	8.0	1,191	8.7	△ 6	合 計	14,926	100.0	13,642	100.0	△ 1,284

自己資本比率

(単位:百万円)

自己資本比率とは、金融機関の経営健全性を示すバロメーター

J Aちちぶは、国内基準(4%)の4倍以上で、国際基準(8%)を上回る16.06%の自己資本比率と14億円の内部留保(特別積立金)で、安定した経営を維持します。

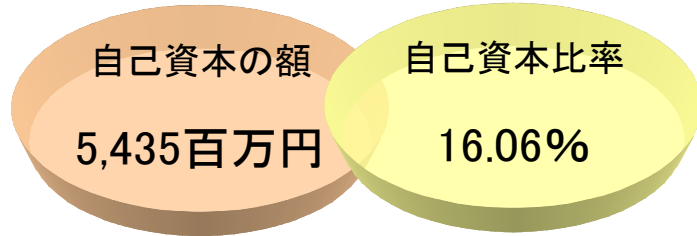
(単位:百万円、%)

	H27.9月期	H28.9月期
自己資本の額	5,156	5,435
自己資本比率	15.80%	16.06%

信用リスク・アセットの額はH28.9月期29,918百万円となります。また、オペレーショナル・リスク相当額のH28.3月期は、312百万円となります。

H28.9月期の計数は、仮決算結果に基づき、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(H18.3.28 金融庁・農林水産省告示第2号)に準拠して算出していますが、半期利益については、前年度実績の2分の1の外部流出予定額を控除して自己資本の額とし、オペレーショナルリスク相当額はH28.3月期の係数を用いて算出しています。

H28.9月期の自己資本の状況



— 自 己 資 本 —

○自己資本比率＝総資産(リスク・アセット)＋オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額

○リスク・アセット：資産のリスクに応じて算出した資産総額

不良債権の状況

J Aでは、経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、金融再生法に基づく開示債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

(単位:百万円、%)

債権区分と保全状況		H28.3月期	H28.9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		492	487
危険債権		321	310
要管理債権		—	—
小 計 (A)		814	798
保 全 状 況	上記債権の担保・保証の額(B)	485	447
	上記債権に対する貸倒引当金の額(C)	314	338
	上記債権に対する保全率(B+C) / (A)	98.2	98.4
正 常 債 権		14,119	12,849
合 計		14,934	13,648

注)H28.9月期の係数は、9月末の仮決算において3月期決算と同一に当JAの資産査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の償却・引当基準に基づき計上したものです。

【用語の説明】

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・破産・会社更生・民事再生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 危険債権・・・債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 要管理債権・・・(1)3ヶ月以上延滞債権＝元金または利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヶ月以上延滞している貸出金のうち、破産更生債権及び危険債権を除いた貸出債権です。(2)貸出条件緩和債権＝経済的困難に陥った債権者又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者等に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権のうち、破産更生債権等、危険債権及び3ヶ月以上延滞債権を除いた貸出債権です。

組合員の皆さまや地域のお客さまとのつながり

JAちちぶは、組合員の皆さまや地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせていただきます。

組合員の皆さま・地域のお客さま
うち組合員数16,155人

※JAにおける「組合員」とは？
地区内にお住まいや勤務の方は組合員になる資格があります。また、組合員以外のお客さまへも一定の範囲内でJAのサービスをご利用頂けますので、お気軽にお声掛けください。

地域からの資金調達の状況

当JAでは、お客さまのニーズにお応えするため、懸賞品付定期貯金や公的年金お受取りの方を対象とした優遇金利定期貯金など特徴ある商品をご用意していますが、今後も新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

- ・スプリングキャンペーン
- ・年金受取りキャンペーン など

貯金・積金残高
106,585百万円

出資金 1,402百万円

貯金・積金 106,585百万円

地域への資金供給の状況 (貸出金に関する事項)

お客さまからお預かりした大切な貯金積金を、資金を必要とされている組合員、地域にお住まいの方や事業者の方々へ資金を適正に供給し、農業や地域経済の活性化に寄与しています。

貸出金残高

136億42百万円

組合員	100億08百万円
地公体等	32億33百万円
金融機関	3億35百万円
その他	65百万円

- * 制度融資の実績
農業近代化資金

1億11百万円

- * 農業支援融資商品
営農ローン/JA農機ハウスローン/
担い手応援ローンetc.
- * 個人向けローン、事業者向け融資
についても各種ご用意しています。

JAちちぶ

常勤役員数	5名
職員数	194名
店舗数	10店
ATM設置台数	26台
農産物直売所	5店
ガソリンスタンド	4店
	ほか

文化的・社会的貢献に関する事項 (地域との繋がり)

(1)「地域との共生」を基本理念に小さな活動からを合言葉に、福祉、スポーツや地域活動等の活動を通じて文化的・社会的貢献活動を展開しています。

(2)利用者ネットワークとして、各種友の会や部会を設置し、さまざまな活動を展開しています。

(3)JAの広報誌「やまなみ」やホームページを通じて情報提供やご意見を承っていますのでご利用ください。

<http://www.ja-chichibu.jp/>

貸出金

支援サービス

営農支援

貸出金以外の運用に関する事項

安全性と流動性を重視した安定収益のためJA県信連預金や国債等の有価証券で運用しています。

JA県信連等預金残高

82.757百万円

有価証券残高

9,059百万円

組合員の皆さま・地域のお客さま

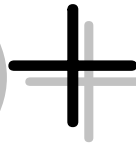
※計数は、平成28年9月末現在です。なお、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。
※記載内容、商品についてご質問がございましたら、お気軽にお声掛けください。

JAバンク・セーフティネットの仕組み

JAバンクは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティネット」を構築し、組合員・利用者みなさまに、より一層の「安心」をお届けしています。

破綻未然防止システム

破綻未然防止のための
JAバンク独自の制度



貯金保険制度

貯金者の保護のための
公的な制度

身近で便利 JA店舗

本店		秩父市上野町29-20	22-3645
本店営業課		秩父市上野町29-20	22-2355
秩父東支店		秩父市山田2629-1	22-0661
秩父西支店		秩父市寺尾1945-1	23-9021
横瀬支店		秩父郡横瀬町大字横瀬1926	22-0035
皆野支店		秩父郡皆野町大字皆野1337-2	62-1240
長瀬支店		秩父郡長瀬町大字中野上385	66-3221
吉田支店		秩父市下吉田6585-2	77-1511
小鹿野支店		秩父郡小鹿野町小鹿野2697-9	75-2430
大滝支店		秩父市大滝4277-8	55-0024
荒川支店		秩父市荒川上田野1432-1	54-1250